

令和2年度 第1回 学校運営協議会

令和2年8月28日

1. 書面による協議会について

本来、7月16日(木)実施予定だったが、八尾北高校が7月12日～16日をコロナウイルス感染症予防のため中止。急遽、書面による運営協議会に変更した。

2. 会議資料

- ・学校運営協議会実施要項
- ・令和2年度学校経営計画
- ・令和2年度重点目標(各1部)
学習指導部・生徒指導部・ガイダンス部・人権教育主担・自主活動育成担当・保健指導担当・
1学年・2学年・3学年
- ・令和2年度八尾北高等学校基本データ
- ・ガイダンス部資料
- ・令和2年度行事予定
- ・「らしんばん」(大阪府立高等学校PTAだより)
- ・運営協議会説明資料

3. 校長より文書による状況報告

- ・別紙「基本データ」説明
- ・別紙「令和2年度学校経営計画」説明
平成31年度からの変更点と追加点について
- ・本年度の状況
コロナウイルス感染症に係る学校休業中について
行事予定について
学校再開から7月末の間の生徒の様子について

4. 会長・副会長選任について

会長 岡田耕治 様
副会長 村上自子 様
賛成多数により決定

5. 協議

(1) 基本データについて

Q1:専修学校進学について、目的・卒業後の進路、安くはない学費等について考察が必要ではないか?

A1:専門学校への進路選択の段階で、生徒本人の希望そして学費等を進路懇談で確認し、ミスマッチが起こらないように指導しています。また各専門学校に進学した本校卒

業生が、学業に真剣に取り組み、希望する職業に就けているかどうかなど、各専門学校と連携をとっています。

Q2: 生徒指導による懲戒とは何か？また、中学校時代に身につけておかなければならないことが、高等学校で懲戒指導になることがないのか？

A2: 教育上必要と認められるときに、指導のために校長より生徒に対して行われる処分のことであり、事案の内容により訓告、停学、退学を判断し行う。中学校に身につけておかなければならないことを明確に理解していないが、次のような時に懲戒処分の対象になる。

単車通学、交通違反、喫煙、飲酒、暴言、暴力、窃盗、公共物破損、恐喝、薬物乱用、セクシャルハラスメント、いじめ、不正受験、出席簿の改ざん、賭博、授業妨害、指導拒否、遅刻、携帯電話不正使用、SNS 不適切使用。

Q3: 遅刻の学年別頻度では学年進行とともに増加する。遅刻に対する生徒の意識の変化はあるのか。

A3: 生徒の意識調査を明確にしたことがないためわからない。ただ、学校に当たり前に行くことができない生徒が、一定数出てくるため、その生徒達の遅刻数が、生活リズムをつかめていく生徒数を上回るため、数字として学年ごとに多くなる。また、学校は遅刻するが「アルバイトは遅刻しない。」「社会人になったら遅刻しない。」など、社会に出ることと学校に行くことが乖離してしまう生徒が一定数出てくるため、その生徒たちの指導に苦慮している。

Q4: 出身中学のダイレクト受験とはなにか。

A4: 海外の中学校卒業後、日本の中学校を経ずに本校を受験している生徒。日本語能力において課題がある場合が多い。

意見: 入試倍が高かったのは良い。遅刻が思っていたよりも多く残念。

前後期制入試がなくなったが、学校の取り組みが志願者数増加に繋がっている。

(2) 重点項目について

Q1: 年間計画の人権教育の内容を知りたい。人権課題についての学習(当事者の生徒も在籍しているはず。)は其中でどのくらい扱われているのか。

A1: 従来は次のような内容を学年の実情に合わせて実施しています。

1年 性的マイノリティについて/野宿生活について

2年 在日外国人・在日韓国朝鮮人について(コリアタウン FW 含む)/部落問題について

※1・2年 性的マイノリティの学習に関して2年に一度、講師を招いて講演会

3年 就職差別について/障がい者問題について

今年度については、時間・場所・行動の制約がある為、2年のFWは中止としました。

また、他の内容に関しても時間の確保が従来通りはいかないので、内容を変更、厳選して実施する予定です。多様な生徒が在籍している為、取り扱う内容はいずれも生徒にとって関係のある内容ではないかと考えています。自分事として考えることができるような学習にしたいと考えています。

Q2: 新型コロナウイルスの感染予防についての取り組みを知りたい。

A2: 手洗い、マスク着用等、府教育庁の指針通り行っている。HPでも様子をUPしているので参考にしてください。

Q3:学習指導部で「考査業務について事前防止を心がける」とあるが、何の防止なのか意味が不明。

A3:考査中の不正行為の防止、考査中の携帯電話の呼び出し音が鳴る、答案紛失、等考査前に、生徒、教員に注意喚起を行う。

Q4:生徒指導部で「高校生に求められる姿の確立」とあるが生徒自身が考えた「高校生に求められる姿」とは何か。

A4:「高校生に求められる姿」は生徒自身が考えたものではなく、世間一般に高校生のあるべき姿のことで、「学校へ登校し、自分の将来のために勉強し、人間関係を学び、自身の能力を高める等、日々努力を続ける行為」のことです。

意見:活用力、対応力が求められる「変化が激しい時代」こそ「正しいことを知っている」ことがベースになる。フェイクが飛び交う世の中だからこそ「基本や基礎」に重心を置くことを理解できる。

(3) 令和2年度学校経営計画について

Q1:教員の授業力向上のため、教員同士が相互に授業見学を行うことは素晴らしい。その後、どのようにリフレクションしあって専門性を高めてゆかかということです。教科として、また、教科を超えてどのような学びのビジョンを持っているのか。

A1:授業力向上については、学校の永遠の課題です。こうすれば必ず成功するというものはないと思います。教員が互いに授業を見学し、研究協議を重ね、他の教員の良い点を自分の授業に取り入れるのが一番近道ではないでしょうか。教科としての学びのビジョンも難しいです。令和4年度から始まる新学習指導要領に沿って、八尾北高校の新教育課程を作成中ですが、八尾北高校生の基礎学力について各教科で話し合っているところです。教科横断的学習について新学習指導要領でも重要視されていますが、本校の場合は、産業社会と人間(校内科目名は社会への扉)の授業が近い内容なのでこれをうまく活用できるのではないかと思います。社会への扉については昨年度から内容の再編を実施しています。

意見:進路決定率が年々上昇しているのは、丁寧な進路相談・指導、キャリア教育の充実の成果。

(4) 本年度の状況について

Q1:学校から発信する情報はどのように工夫されているのか、特に日本語が充分でない生徒や保護者には多言語であるいは優しい日本語で情報提供されているのか。

A1:中国ルーツの生徒保護者には、ネイティブの教員から電話連絡している。他のルーツの生徒は、保護者よりも生徒のほうが日本語ができるので、担任から電話して平易な日本語で理解できているか確認し、保護者へも伝えてもらっている。

意見:コロナの問題は感染・感染予防が主ではあるが、「社会問題」として教育的に対応することも意義がある。キーワードとして社会人としての自覚、SNSの在り方、人権、働き方・職業などについてです。

良好な状態であることは大変うれしく思う。

1月の沖縄修学旅行時に COVID19が収まっていることを願う。

新型コロナウイルスで大変な中、生徒は平静さを取り戻していると聞き安心している。

コロナ対策の中、体育祭で生徒たちのモチベーションを高め、自主性やエネルギーを発揮する場を確保している。

(5) 令和2年度行事予定について

Q1: COVID19 予防のため、中学校は体育大会中止、文化祭では密にならない状況での実施を予定。体育祭、文化祭を実施する時の工夫はどうなっているのか。

A1: 6月の体育祭を9月4日に延期した。収容人数1万人の体育館を借りて実施する。生徒やその他の人数を合計しても収容人数の10分の1なので密ではないと判断した。9月なので熱中症の心配があったが空調があるので大丈夫だと判断した。手洗いや、アルコール消毒については他校と同じ対応をとる。

文化祭については、詳細は決まっていないが実施する。コロナ対策のため、昨年度と全く同じ形態は無理だと思う。

Q2: コロナ感染症が予測不能な中、合字・授業時間確保は大変。3密を避けた行事・授業形態の新しい工夫が求められるのではないかと。

A2: 府教育庁から、新型コロナウイルス対応の指針が出ているのでその通りに進めている。修学旅行についても指針が出たのでそれに従って進める。

(6) 令和元年度大阪府立高等学校 PTA 研究集会(事例発表)報告について

意見: (P)ぱっと(T)楽しく(A)集まろうのスローガンが素敵です。

充実した PTA 活動がなされていて感心しました。

八尾北高校の楽しい感じがよく伝わりました。

協議会に PTA 会長が出席され発言する様子としっかりと学校が受け止めている様子は、PとTの協力がなされていると感じていたが「らしんばん」の報告記事は、改めてPTA活動の良さを感じることができた。

(7) その他

Q1: 八尾北の HP は誰を対象に作成していますか。生徒保護者の利用度はどのくらいか。

A1: 保護者・生徒・中学生向けに学校の教育活動を伝えています。しかし、活用は少し上がりましたがまだまだです。経営計画の数字を達成しようと昨年度後半から力を入れています。外国ルーツ生徒向けには「オアシス」活動はひらがなで UP していますが、長くなり読みにくいのが難点です。画像を多くして雰囲気伝えるようにしています。

Q2: 利用頻度では、PC、スマホ、タブレットのどれが多いか。

A2: 調査方法がなく、調査していないので不明です。

意見: 丁寧な計画を立てておられて多くのことを学ばせていただいています。

コロナ禍で大変ですが、誇れる地元校として発展させていってください。

ICT の授業の見学を希望します。

PC 用の HP は、スマホでは見にくい。

多言語対応、易しい日本語表記も必要。

10分でわかる総合学科八尾北高校はとても良い。